

光高工業

1ピッチ0.05mm

微細送りネジ開発

キラリと光る町工場のカ

減で行っている。今回の微細ネジは習熟度も不要でドンピシャに決まる。

○：加工は得意の精密ネジ研削技術。使った機

械は20年ほど前に導入

し、その後、社内でオー

バーホールまで行った現

役ばりばりの汎用ネジ研

削盤(旧ソ連製)。「NC

ではこの加工は無理」

(光高社長)とのことで、

まさに「匠の技」で実現

した微細ピッチだ。砥石

は「ダイヤモンド砥石で

はなく、通常の研削砥石

を採用。ツールインクは

砥粒そのものを鋭角に仕

上げる」(同)という独

特の方法。どこまでも匠

の魂が息づく。

○：精密機器分野から

の問い合わせが相次いで

いるが、用途開拓はこれ

から、と光高社長。総勢

6人の町工場。しかし、

その技は他にない輝きを

放つ。

◇

本社 東京都世田谷区

深沢5-22-7、電話0

3-3704-2454

社長 光高眞法氏

従業員数 6人

創業 1969年(昭

和44年)11月

事業内容 精密ネジ研

削、一般ネジ・長尺ネジ

研削、ウォームシャフト

研削、台形ネジ研削、金

型ネジ研削、円筒研削。

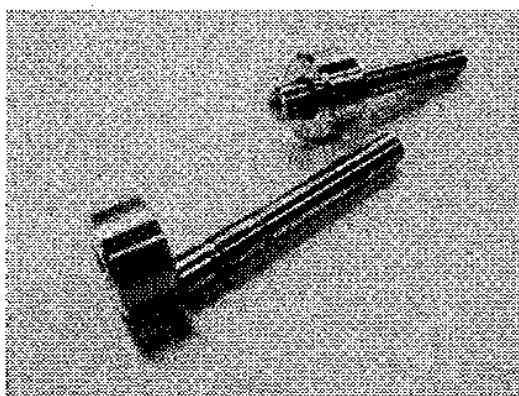


光高社長

○：精密ネジ研削、特殊ネジ研削を手がける光高工業は1ピッチ0・05mmという微細ピッチ送りネジを開発、要望に応じてサンプル出荷を始めた。光学機器系、医療機器系など精密分野での需要が見込めそうだ。

○：1ピッチ0・05mm/回転ということは、20回転で1mm。精密測定

工具のマイクロメーターのネジが1ピッチ0・5mmということからも今回



サンプル出荷を始めた微細ピッチ送りネジ

のネジの微細さがうかがえる。送りネジはSKS3(55S58HRC)、研削仕上げ、メネジはC3604B(真鍮)のタ

ップ仕上げ。通常の光学顕微鏡に用いられる位置

決め用ネジは0・5mmピ

ッチ。高解像度で0・0

1mmとされ、調整は手加

は「ダイヤモンド砥石で

ますに「匠の技」で実現

した微細ピッチだ。砥石